



【ものづくり・人づくり・地域づくり】2017 年度活動テーマ ～地元のやさいを食べよう～

## 8.26 原発いらない茨城アクション



去る8月26日(土)に組合員、役職員で原発いらないアクションに総勢33名が生協からバスに乗って参加しました。東海第2原発の20年延長、再稼働を認めない動きとしてデモ行進、人間の鎖(ヒューマンチェーン)を東海第二原発の前で行いました。他の団体のバスに乗って参加した組合員さんも多数いました。

「いのち育む食」が「いのちを侵す放射能入りの食べもの」になってしまったこと。広い範囲で被ばくによる子どもたちへの健康への不安が続いている事。食を生み出す大地・海・森の汚染により、生産者が困難に陥ってしまう事。何より、6年前に起きた福島第一原発の事故により、ふるさとを失った福島の人々が今尚、深い闇に追われていることなど、問題が山積みです。私たちが今できることは、未来の子どもたちへ危険なものを残さない事。平和な世の中を作っていく事が、大人の責任です。

なんととしても、東海第二原発は廃炉にしていかなければいけません。世の大人が子どもに良く言う言葉として「危険な所行かないように、危ない事してはダメよ」と。同じ事を、なぜ大人が理解できないのか?いや、理解してもらいましょう!!「危ない(原発)事(再稼働)してはダメです」。

(専務理事 伊藤)

### 【2017年9月の予定】

●生協基幹運営／地域活動・催し●	●提携・協同・連帯企画●
<p><b>【定期開催の催事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎週木曜日につくば桜運動公園ゴンタの丘にて地域コミュニティ活動中。</li> <li>・ 毎月第3火曜日にゆるカフェ開催。</li> <li>・ 毎月第一土曜日にじょうそう朝市を開催しています。</li> </ul> <p>9/11 (月) 脱原発とくらし見直し委員会                      9/13 (水) 第一回生協まつり実行委員会                      9/27 (水) 定例理事会                      9/29-30 (金、土) 岩手県産地ツアー                      9/30 (土) 生協実験田稲刈り</p>	<p>9/9 (土) 甲状腺検診 (横浜)                      NPO 里山再生と食の安全を守る会 総会                      9/10 (日) 甲状腺検診 (相模原)                      9/14 (木) 茨城訴訟団会議                      9/17 (日) 魚住有機農学校                      9/20 (水) 業者会役員会                      9/30 (土) 吉原毅さんの講演会 (土浦市)</p>

## 原発いらないアクションに参加した職員の声

### ●廃炉を求める動きを続けていく事。

ヒューマンチェーンは初参加でした。カンカン照りの暑い中、東海第二原発近くの公園が集合場所には、各地から色んな団体が集まってました。見渡すと年齢層はだいが高く、常総生協職員が平均年齢を下げているような印象でした。アクション開始前には、常総生協ではお馴染みの小川仙月さん・元東海村村長の村上さん・福島の女たち等、熱いメッセージを聞いて、またちょうど茨城県知事選挙投票日の前日ということもあり、どうにか止めたいと強い気持ちを持ちながら、公園を出て、原発まで歩いて囲むように並びました。原発やめろコールをしながら手を繋ぎ、暑い中のイベントは終わりました。実際に行ってみて、原発周辺はかなり住宅が密集していることに気づきました。この老朽化した原発がもし震災や災害で何かあったら…と思



うと、やはり廃炉を求める動きは続けていかなければならないと強く感じました。

(商品部 稲垣)

東海村元村長 村上 達也さん

### ●初めて参加しました。

今回初めて参加しましたが、改めて放射能の危険性や原発の現状の問題についてを改めて把握できた気がします。大石顧問の話やデモ活動の人々の話を聞いて自分は被災者という立場であったにも関わらず今まで原発に関心がなく毎日を過ごしていたのでこれからは意識を変えて一人の被災者として放射能について考えていきたいと思います。またデモ活動の中でヒューマンチェーンがあったのですが正直それを自動車のいる道路の方へ向けて大きな声で発言してもその逆に位置する原関係者の人に伝わるのか？という疑問を持ちました。ただ、デモ活動自体はこんなにも原発に対して不信任を抱いている人がいるんだなと思いつつまたデモ活動には参加したいと思います。

(供給部 小室)

### ●反原発の声を届けなければ

今回の東海第2廃炉アクション、事前の大石顧問による講和を聞き頂いた資料を見て20年延長申請の危険性を改めて感じました。廃炉アクションの集会場に到着すると、全国各地から同じ志を持った仲間が集まっておりその熱気に驚き、この運動が大きくなっているのではなかと感じたのが第一印象です。しかし、



現実にはそう簡単なものではなく、翌日に投開票が行われた茨城県知事選では自公が推薦する候補者が当選。再稼働については県民の意向を確認するという従来の主張を前提にしながらも「単純に賛否を言えないのが原発の難しさ。」という発言、再稼働に向けた動きが加速してゆくのではないかと危機感を覚えました。また、ヒューマンチェーンの現場まで行進している途中も、手を振って応援してくれる人は少なく、多くの通行人や車はほぼ無関心という感じで通り過ぎてゆきました。当事者である日本原電の前でも一部の職員が外の様子を見に来ていましたが、「聞こえてますよね？」と思ってしまう位に何事もなかったかのような静けさには怒りを乗り越えて虚しさすら覚えてしまいました。「危ないと分かっている物を何故やるの？」こんな単純な矛盾すら無かった事にしてしまう現実。そんな中でも私達大人が未来の子供たちの為に絶対に譲ってはいけない事があると思います。今後も諦めずに声をあげ続けることが今の状況を作ってしまった現代に生きる私たちの責任だと強く感じました。

(商品部 横関)

### ●知らなかった。でもこれからは勉強して、危険を伝えていく。

今回初めて東海村まで行き原発関係の集まりに参加しました。正直今までは原発についての知識、関心があまり無く、テレビの報道の知識しかありませんでした。本部での大石さんの講座を聞き、今までの常総生協の原発反対の運動などを聞くことが出来き、より原発が身近に感じました。危険しかない原発がなぜ無くないのか、一般人の人は感心もなければ、テレビなどの報道も少ないので知識も得る事が出来ません。もう少し国自体の考え方を変えなければ、原発ゼロにするのは難しいと感じた。原発前での手をつないでの「ヒューマンチェーン」はものすごく良い運動だと思いました。沿道を走っていた車の方々にはどう映ったのでしょうか。今後も原発については勉強していきたいと思いました。

(供給部 滝本)



## ●「親の責任」として絶対反対廃止を求めつづけます。



職員へ語りかける大石顧問

午前中の大石さんの話の内容は、1999年の東海原発JCO火災事故で2人が死亡した当時から振り返り、生協が原発反対の立場を理事会決議で決意した文書な

どを参考に3.11の大震災の福島原発事故を通して若い新人職員にもわかりやすく説明していただいた。自分も、東北宮城、北茨城に物資搬入に走り回ったことを思い出した。8月26日(土)常総生協の職員研修会午後の部は、再稼働が予定されている茨城県のひたちなかにある東海第二原子力発電所を人の手で囲む再稼働反対集会に参加しました。国の経費が2000億円も投入されることや、40年にもなる老朽化した廃炉に近い原発を動かすことの危険性がどういふことを私たち100km圏内の住人にもたすのか、福島から来た女性団体代表が涙ながらに「いまだに若いおかあさん方は、ここ福島から離れたいけど離れられない不安で眠れない日々をすごしています。」との演説を聞き、逃げて差別にあたり風評被害がつきまとう現実に心締め付けられる思いになりました。集会所から約1.7kmの距離をデモ行進してみんなで「東海第二原発再稼働反対！廃炉に！」を唱えました。自分たちの子々孫々まで悪影響を及ぼす、放射能をまき散らす原発は、「親の責任」として絶対反対廃止を求めつづけます。

(供給部 佐藤)



「原発いらない福島の女たち」の方々の演説

## ●誰かがやってくれるだろう！という意識ではいけない。

原発という大きな危機を真剣に考えてなかった、反対と思いつつ政治的な大きな流れや揺れには立ち向かえないという、まさに選挙にも行かないような人々と何ら変わりなかったのではないかとと思われました。

手を繋ぎ沿道での反対コールは走り去る車の方々にどう映ったのでしょうか？危機感は伝わったのでしょうか？危機感を持った人々が普段の会話のなかに取り入れ話していく事も手段かと思いますので自ずから試みたいとも思いました。また賛成の方のご意見も聞いてみたとも思います。人が平和に暮らせる社会は、誰かがやってくれるだろう！という意識ではいけないと言うことを学ばせて頂きました。

(組織部 加藤)

## ●良い刺激・経験になりました。

原発関連の講習は専門的な内容もあって難しく感じましたが、少しでも知識をつけてからデモに参加できて良かったです。3.11震災直後の状況や生協の対応について知り、直下地震がきた時の原発の怖さ、放射能から土壌汚染・健康被害・何万年も続く廃棄物等…多くのリスクを学びました。なかでも東海第二が一番古く、廃炉にすべき原発を再稼働するという事の怖さを感じました。身近なところに住む私たちの生活への影響が大いにあるだろうと思います。ただ、審議の上で再稼働を進める方向にあるなら、その理由についても細かく知る必要があるかと思います。再稼働の意見、廃炉の意見、双方の視点で学ぶことも大事かと思います。今回が初めてのデモでしたが、様々な団体が意識高く活動されていると感じ、良い刺激・経験になりました。

(組織部 新山)

## ●自分の子どもや孫に危険な原発稼働には反対です。

役員研修について今回はじめて東海第二原発のデモに参加しました。正直、原発について何もわからない事だらけでした。大石顧問の話聞いて放射能の危険性や万が一放射能が外に大量に漏れたら人が住めなくなり農業の衰退につながります。自分の子どもや孫に危険な原発稼働には反対です。今後、機会があれば原発デモに参加したいと思います。

(供給部 古橋)



## ●もっとお知らせすれば良かった。

東海第二廃炉アクションの参加は今回で2回目です。もっと組合員に呼びかけてより多くの方が集まれば良かったと思いました。今回も「常総生協は当原発の再稼働20年延長にははっきり反対！」という意思を周囲に示すとても大事な場だったと思いました。茨城県知事選の結果は残念でしたけれど、「原発再稼働20年延長には絶対反対！」という県民の声をもっと結集して

いく為にも、これからもこのような場は必要だと思えます。常総生協もこれからもぶれずに、この問題に向かっていかないといけないと強く感じました。「私は生活クラブの方々と共に参加しましたが、常総生協の人達も来ていたんですね」という組合員が供給中におられました。事前にもっとお知らせをしても良かったのかなと、聞いて感じました。

(供給部 上田)

### ●あの当時の恐怖と衝撃は忘れません。

3.11 あのとときの恐怖感は今でも忘れることはできません。福島第一原発事故により一瞬にして生活破壊を及ぼし、放射能汚染でこの地に住めなくなる何もかもがズタズタに。本当に怖かったあの時の衝撃は…。午後はバスでひたちなかにある東海第二原発再稼働反対デモに参加、集会所では多くの団体の人達がのぼりや横断幕をもって原発の再稼働を差し止める抗議デモに熱気漂う様子がひしひしと伝わりました。ヒューマンチェーンデモ行進に歩け歩け運動企画のように、大勢の方の後に続いて歩き車の来る大通りに向かって大声で老朽化した原発をさらに20年稼働阻止を思いを込めて叫びました。今回は色々勉強になりました。

(供給部岩野)

初めて原発反対ヒューマンチェーンに参加しました。現場には他県の原発再稼働反対の活動をされている方も沢山いました。そして熱気があり参加してよかったです。旗を掲げて歩いている最中、自分の担当の組合員さんも何人かお会いしました。全体をみて思ったことは、若い人の参加が少ないこと。そこがとても残念でした。

(供給部 大橋)

### ●行動あるのみ

以前に水戸で同様のデモに参加しましたが今回は色々な地区から反原発団体の参加があり意識の高さを感じました。耐用年数を超えて再稼働しようとしている東海第二原発は、より強い反発があるのは当然のこと。日本で一番再稼働をしてはならない原発。それを廃炉にしたいという思いが人々を結集させたのでしょうか。ただヒューマンチェーンはどこへ向けての声だったのか？東海第二原発で働く人に向けてのものなのか。それとも東海村に住む人々や茨城県民、首都圏全域の住民に向けてのものだったのか？もっと人の多い所で賛同を得られるようなアクションが実効的ではないかと感じた。ともあれ、何もしないよりは行動あるのみで今後も応援していきたいと思いました。

(供給部 阿部)

### ●若い方が関心持つことが大切

**【理事会承認】東海第二原発再稼働、20年延長差止めのための「仮処分申立」を行います。**

#### ■「仮処分申立」とは…

- 係争中に生じると考えられる権利侵害に対して、債権者(原告)の権利を保護するために、裁判所に仮の救済を求めて、権利の保全命令を出すことを申し立てること。
- 原発裁判では、本訴が係争中のとき、再稼働によって住民の人格権侵害の切迫した危険性があることを主張して、安全の保全(運転の仮差し止め)を裁判所に求める申し立て。
- 2015年4月高浜3・4号、福井地裁で仮処分決定(12月仮処分決定取り消し)。2016年3月大津地裁で仮処分決定(2017.3大阪高裁で取り消し)。伊方原発に対しては、広島地裁、大分地裁、山口地裁で住民が仮処分申し立て、2017.8広島地裁で却下されたが、そのほかは審理中(本訴は愛媛地裁で係争中)。どこかひとつの地裁でも仮処分決定が出されると運転停止となる。

とにかく、危険な原発を稼働させない動きとして、運転差止めの「仮処分」申立を各地裁で行う準備をしていきます。時期としては2018年11月間に規制委員会による「20年延長許可」が下りるタイミングで申立を行い、運転させないように働きかけていきます。本訴の方と同時進行になりますが、「20年稼働の延長申請」「再稼働」への動きが強くなっていく状態であり、申請許可も早まる可能性も高い事から、我々国民が最大限にできる事をして、「いのちと未来を守る」動きをとっていきます。

## 2017 年度第 3 回理事会開催報告

開催日時：2017 年 8 月 30 日（水）9：30 ～ 15：00

開催場所：ふれあいの里 ひまわり館 茶室

【当日スケジュール】

時間	内容
9：30-11：50	鈴木牧場産地視察と牛乳開発に向けての協議会
12：00-12：50	お昼休憩（ふれあいの里 ひまわり館茶室にて）
12：50-15：00	第 3 回理事会 開催

【議案】

（協議検討事項）

- 【第 1 号議案】 鈴木牧場牛乳 PJ 運営方針と体制の件
- 【第 2 号議案】 東海第 2 原産 20 年延長運転差止め仮処分提案の件
- 【第 3 号議案】 日本の種子（たね）を守る会への加入の件
- 【第 4 号議案】 ゆるカフェ運営方針変更の件

報告・相談事項

- 理事長代行の件
- 7 月決算報告
- 8 月事業報告
- 地区懇談会開催進捗報告
- 活動報告
- その他

今回の理事会は、9：30-15：00 までと 6 時間半の長丁場の会でした。

理事会として、鈴木牧場へ足を運び、生産者と直接話をする中で、鈴木さんの想いにもどう応えていけるかを集中的に協議しました。柳町理事長が叔母さんの介護に行くペースも増えるため、生協へ継続的に来ることが困難になるという事で、やむ負えず今期の所は常勤である専務理事の方で理事長の代行を行う事を理事会で確認されました。今後、より一層理事会として団結して運営、活動に取り組んでまいります。組合員の皆様のご協力も宜しくお願い致します。

今週からお届け明細が変わります。

### 配布用

お届け明細書 8 月 5 回		班名	お届け日	曜日	
A-4a			2017/08/31	木 1/1	
<b>常総生活協同組合</b> TEL 0297-48-4911 FAX 0297-45-6675					
注文番号	区分	商品名	税込単価	数量	金額
17	冷蔵	油揚げ 2 袋 3枚×2	322	1	322
52	冷蔵	安田さんのなめこ（増量）100g	124	1	124
226	冷蔵	よつ葉北海道十勝スモークチーズ 45g	222	1	222
233	冷蔵	きぬ豆腐 300g	178	1	178
237	冷蔵	豆腐からあげ 10個	227	1	227
274	冷蔵	わさび漬 100g	259	1	259
24	冷凍	三陸宮古の股付き牡蠣（5個）5個	700	2	1,400
146	冷凍	炭火焼まぐろタタキ 140g	572	1	572
456	ドライ	玄米おこし 150g	367	1	367
12	農産	レタス 1玉	205	1	205
33	農産	サニーレタス 1玉	194	1	194
87	農産	中村さんのペピーリーフ 40g	167	1	167
配送担当 岩野がお届けしました。			合計	13点	¥4,237
					（うち消費税 ¥312）
			基本料		¥100
			今回増資		¥100
●商品情報 本日お届けする商品についてのお知らせです。					
注文番号	区分	商品名	税込単価	数量	金額
8/5 33	欠品	サニーレタス 1玉 日照不足で病害発生 次月請求書処理	194	1	194
8/5 87	欠品	中村さんのペピーリーフ 40g 日照不足、アブラムシ発生 次月請求書処理	167	1	167
			合計	2点	
●商品情報は以上です。商品情報は掲載が間に合わない場合があります。Webでは最新情報をご覧ください。					

### WEB 用

食はいのちをテーマに、笑顔・千葉に安心・安全な食品をお届けする生協です。  
**常総生活協同組合** インターネット注文

8月5回の野菜セットの内容  
 2017年 常総生協まつり実行委員&サポーター、アンケート大募集!  
 8月5回おすすめ商品PK動画  
 9月1回カクワ  
 【重要】戸別営業時の駐車協力をお願い  
 情報発信中です!!是非ご覧ください。  
 【お知らせ】2017年度野菜セット申し込みはこちらどうぞ!!

990220：商品2017091様

9月1回注文画面へ

締め切り時刻は2020年1月1日（水）10：00です。

2017-08-31  
 お届け予定の商品情報です。

回 注文番号	区分	商品名・規格・理由など	点数
8月5回 注文番号 33	欠品	サニーレタス 1玉 日照不足で病害発生 次月請求書処理	1
8月5回 注文番号 81	欠品	大木さんの中玉トマト 300g 天候不順で量が全減 次月請求書処理	1
8月5回 注文番号 83	欠品	ズッキーニ 2本 台風で苗木折れ収穫できず 次月請求書処理	1
8月5回 注文番号 89	欠品	おかひじき 100g 天候不順で収量不足 次月請求書処理	1

ココが変わりました。

お届け明細に商品情報を表記するようにし、お届け明細で本日の商品のお届けを含めて、情報が 1 本化になりました。あっちこっち見る必要が無いのと、情報の一元管理によって、正確で新鮮な情報を組合員さんへお知らせすることができます。



常総生活協同組合 理事会



# ゆるカフェ

生協本部が人と人がつながる場所を開放しています。

第4回「ゆるカフェ」は・・・

～～～DVD 上映会を行います～～～

印鑰智哉先生による講演会、「私たちの食と遺伝子組み換え」をDVDで上映します♪

総代会後の講演会を逃した方、ちいさなお子様連れで遠慮された方、

♪♪♪この機会をお見逃しなく♪♪♪

☆DVD 上映後はいつものように、フリースタイル☆

お茶菓子を頼張りながら、

小難しい話から、日頃の愚痴まで、なんでもありです♪

どなたでも好きな時にお越しください♪

ゆるりとみなさんで集って



♡ご近所さんと立ち話するように、お話ししましょう♡

日時； 9月19日(火曜日) 10時～15時開放

(10時頃より上映予定です)

場所； 常総生協本部 2階 組合員活動室

参加費； 無料



♪♪♪お茶、お菓子をを用意してお待ちしております♪♪♪

★商品部の、新商品の検討・サンプル試食があります。

主食(おにぎりなど)になる物をお持ちいただければ、ランチも出来ます。

と一緒に試食して、今後の商品ラインナップにご協力ください。

お問い合わせ先； 常総生活協同組合 伊藤

茨城県守谷市本町 281

tel 0297-48-4911 Fax 0297-45-6675



常総生協QRコード

